

**重度・重複障害児における共同注意関連行動と
目標設定及び学習評価のための
学習到達度チェックリストの開発**

重度・重複障害児における共同注意の障害と発達支援に関する研究
平成15年度～平成17年度科学研究費 補助金（基盤研究（C））
（課題番号 15530441）

研究成果報告書

平成 18 年 3 月

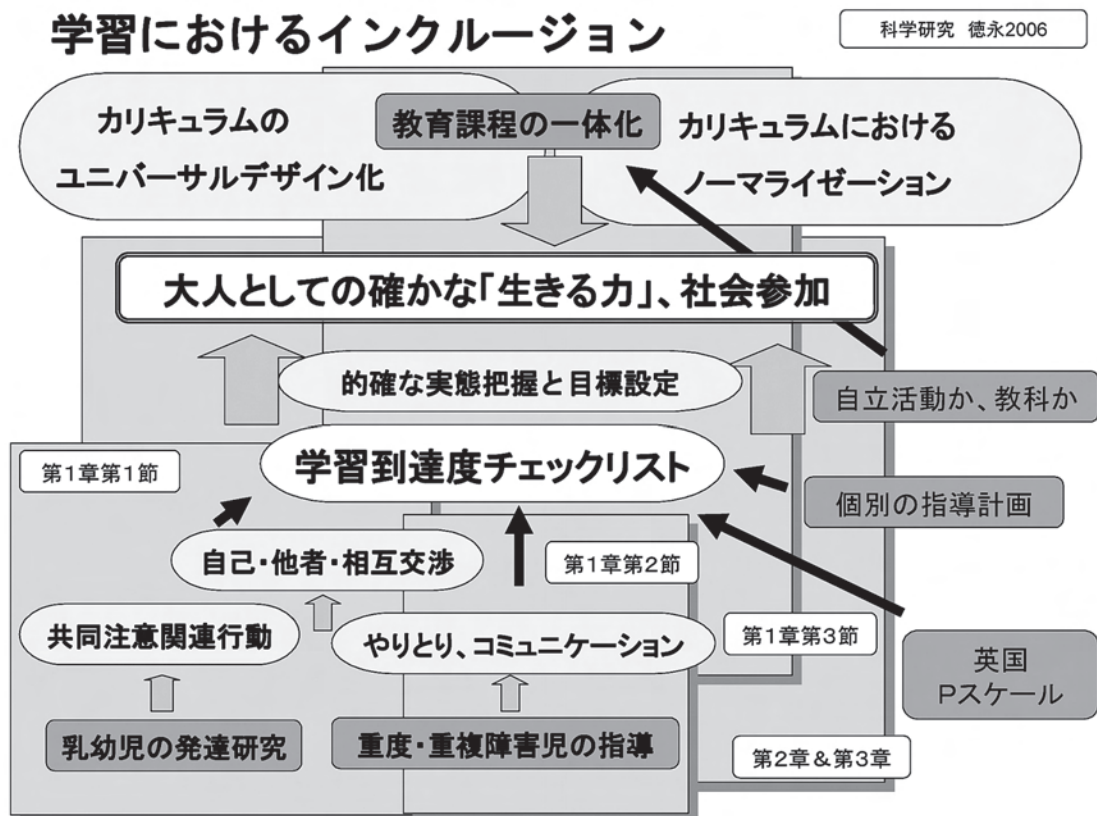
研究代表者 徳 永 豊

独立行政法人
国立特殊教育総合研究所

重度・重複障害児における共同注意関連行動と 目標設定及び学習評価のための 学習到達度チェックリストの開発

研究のミッション・ビジョン

1. 障害のある子どもが、その能力や可能性を最大限に伸ばし、確かな「生きる力」を身につけ、その子どもなりの社会参加を実現することを目指す。
2. そのために、障害のない子どもと同じカリキュラム構造のもと、的確な実態把握を行い、個々の特別なニーズに応じて、学習目標や学習内容を設定する。
3. 目標設定の妥当性、共通理解を高め、学習状況の把握と関係者におけるその共有を促すために、学習到達度チェックリストを開発する。



重度・重複障害児における共同注意関連行動と 目標設定及び学習評価のための学習到達度チェックリストの開発

目 次

研究の目的および研究組織	1
第1章 重度・重複障害児の共同注意に関連する行動と学習評価	
第1節 障害と共同注意に関連する行動についての研究動向	5
第2節 重度・重複障害のある子どもにおける学習の基本構造	9
第3節 障害が重度な子どもの実態把握, 目標設定, 学習評価, そして教育課程について	19
第2章 学習到達度チェックリストの開発と活用に関する検討	
第1節 障害が重度な子どもの学習到達度チェックリストの提案	27
第2節 学習到達度チェックリストに基づく実態把握の事例検討	33
第3節 事例研究1 重度・重複障害児の共同注意行動と 要求伝達行動の高次化に関する指導	53
第3節 事例研究2 重度・重複障害児のコミュニケーション行動形成の指導 －三項関係におけるリーチング行動の発達－	61
第3章 まとめとして	
研究のまとめと今後の課題	73
引用・参考文献	
資料 項目の記述内容	